

令和5年度 第2回

君津市文化財審議会会議録

日時：令和6年3月22日（金）午前10時～

場所：君津市生涯学習交流センター 202会議室

令和５年度 第２回文化財審議会会議録

- 1 日 時 令和６年３月２２日（金） 午前１０時開会 午前１１時１５分閉会
- 2 場 所 君津市生涯学習交流センター ２０２会議室
- 3 出席委員 木曾野正勝（会長／古文書）、小高春雄（考古（城郭））、舘石亮行（近世史・仏教史）、御簾納照雄（副会長、自然）、宮本敬一（考古）、渡邊茂男（中近世史）
※欠席委員１名（高橋 克委員）
- 4 出席職員 生涯学習文化課長 塚越直美、文化振興担当主幹 當眞紀子、久留里城址資料館副館長 平塚憲一
- 5 会議の議題 （１）令和５年度文化財関係事業について
（２）その他
- 6 公開または非公開の別 公開
- 7 傍聴人 ０人
- 8 次 第
 - 1 開会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 報告・協議事項
 - （１）令和５年度文化財関係事業について
 - （２）その他
 - 4 閉会
- 9 会議の内容（次第３ 報告・協議事項より）

（木曾野会長）

それでは報告・協議事項の（１）令和５年度文化財関係事業について、事務局の説明を求めます。

（１）令和５年度文化財関係事業について

（當眞文化振興担当主幹）

生涯学習文化課の主な事業について、説明いたします。

① 漁業資料館管理運営及び展示普及事業です。令和５年度は感染症の影響を受けず、年間を通して開館及びノリつけ体験を実施できました。入館者数は２月末現在で１，００９人、コロナ禍以前の入館者数に近づいております。また、ノリつけ体験は４回、周南小・周西小のほか２団体を対象に実施しました。今年度は、学校教育課の「きみつ SDGs 教育推進事業」のプログラムと連携し、ノリ養殖や昔の君津の漁業について、職員が出張解説等を行いました。

② 埋蔵文化財発掘調査事業です。民間開発発掘は４件、市内遺跡発掘は２件、公共事業発掘は２件、そのうち報告書刊行まで実施のものが４件もありました。民間開発発掘については、１２月議会

で補正予算を組んで対応する案件もあり、専門職員が発掘調査担当として常に現場に出ているといった1年でありました。

③ 文化財活用事業です。小学生対象の体験学習「歴史 kids 隊」では、夏休み期間中に「土器づくり体験」4回を開催し、全体の募集定員80人に対し、参加者計80人でした。次に、「長板中形」関連事業では、昨年10月に君津市初の人間国宝に認定された松原伸生さんの技術と作品の魅力を紹介するため、久留里城址資料館企画展と連携し、中央図書館を会場に、松原さんによる講演会とプレ展示を開催しました。講演会は11月18日開催、募集定員100人に対し参加者150人、プレ展示は11月18・19日の2日間で見学者394人です。プレ展示は、中央図書館1階ギャラリーで開催しましたが、博物館施設ではない場所での資料展示でしたので、照明の調整等を資料館の学芸員スタッフに工夫してもらい実施できました。出土遺物公開展は「ちっちゃい土器のエトセトラーなこれ？どこから？どうやって？」というテーマで、市内から出土した「ちっちゃい土器」、ミニチュア土器といわれる小さい土器を選んで展示・紹介しました。中央図書館と久留里城址資料館の2会場で開催しております。今年度は、久留里城址資料館企画展終了後の展示室の資料入れ替えで、常設展示室の一部を使用できる機会がありましたので、試行的に資料館を会場としました。見学者数は2会場合計で869人です。また、公開展期間中に関連講座「ちっちゃい土器づくり体験」と「展示解説ー土器を愛でる会ー」を開催しました。図書館会場期間の12月には、生涯学習交流センターを会場に「ちっちゃい土器づくり体験」を行い、募集定員20人に対し参加者計29人でした。資料館会場期間の1月には、「ちっちゃい土器づくり体験」と「展示解説ー土器を愛でる会ー」を行い、「ちっちゃい土器づくり体験」は募集定員10人に対し参加者12人、「展示解説ー土器を愛でる会ー」は募集定員20人に対し参加者10人でした。松本ピアノの補修は3月に実施しております。

④ スクールミュージアム事業は、重点実施校の小櫃小・八重原小・周南小の3校を中心に、プールの水生生物観察会、学校周辺の遺跡巡り、自然観察会、勾玉づくり体験等のプログラムを計画通り実施しました。この他、希望校が1校、外箕輪小ですが、学校周辺の遺跡めぐりを実施しています。

⑤ 無形民俗文化財等保存事業です。県・市指定文化財の保存会では、昨年度までコロナ禍の影響で活動を自粛せざるを得ない団体もありましたが、今年度は、祭礼奉納を実施する団体が増えました。保存会の方からは、「休止期間中は稽古も自粛していたため、久しぶりの奉納でコロナ禍以前と同じ様にはできなかった」という声もありましたが、次の年に向けて動き出せたことは、大変嬉しい限りでした。県指定文化財「鹿野山のはしご獅子舞」は、コロナ禍と後継者不足のため近年休止が続いております。この3月に保存会から、鹿野山地区に限定せず後継者を募り、継承をしていきたいという相談があり、今後について、事務局と協議しているところです。以上です。

(平塚副館長)

久留里城址資料館の令和5年度の主な事業を報告させていただきます。

まず年間の開館状況ですが、9月に台風接近にともなう臨時休館が1日あったものの、最終的に年度として296日の開館をすることができそうです。

①常設展示事業ですが、今年度は、展示室内で主に考古資料を紹介している「郷土を掘る」コーナーを、約20年ぶりに大幅リニューアルしました。夏休み期間中の8月6日には、昭和54年の開館以来の入館者数が100万人に達し、これを記念した桜の植樹を3月26日に天守閣前で行う予定です。植樹については後ほど説明いたします。入館者数は、2月末現在で11,924人です。

②企画展示事業については、企画展「長板中形ー松原伸生の伝統と展開ー」を11月21日から12月17日まで、前期・後期と展示作品の一部入れ替えを行い開催しました。松原伸生さんが10月18日に君津市初の人間国宝に認定されたこともあり、予算や内容等において当初予定に追加しての

実施でしたが、盛況なうちに終了いたしました。会期中には関連事業として、松原伸生さん本人による「糊置き実演とギャラリートーク」を、１１月２３日の午前と午後２回行い、あわせて３７人の参加を得ました。また、長板中形関係者と資料館職員による展示解説会を、１２月２日と１０日に実施し、２日間で８２人の参加がありました。

③教育普及事業ですが、資料館講座として「古文書講座・初級編」、「城を歩こう」、「上総の地質とチバニアン」などを行いました。「古文書講座・初級編」は全４回開催し、講師は資料館の学芸員が務め、古文書学習サークル「雨城古文書同好会」の協力も得ました。募集定員各回２０人のところ、参加者は延べ１０３人でした。「城を歩こう」は小高委員に講師をお願いし、１２月１６日に木更津市の真里谷城跡を見学しました。募集定員２０人のところ、参加者は２０人でした。「上総の地質とチバニアン」では、御簾納委員に講師をお願いし、２月２４日に市原市のチバニアンをはじめ、市内の松丘・亀山地区の用水関連の場所や地層などを見学しました。募集定員２５人のところ、参加者は２１人でした。小学校の見学受け入れについては、市内小学校９校、対象学年は３年生を受け入れ、このほかに、「昔の暮らし」の出前授業が２校、昔の道具の貸し出しが１校あり、学習支援に努めました。

以上で、久留里城址資料館の事業の報告を終わります。

（木曾野会長）

事務局の説明が終わりました。何かご意見ありますか。

（御簾納副会長）

スクールミュージアム事業について、お伺いします。各小学校のプログラムのうち、「プールの水生昆虫観察会」がありますが、採取した昆虫のデータはありますか。もしあるなら、市内にどのような虫がいるのか興味深いデータなので、教えていただきたい。

（當眞文化振興担当主幹）

「プールの水生昆虫観察会」は、近年では重点実施校の八重原小・周南小での実施ですが、これまでは小櫃小やその他の学校でも実施しておりました。講師に千葉県立中央博物館学芸員をお願いし、採取した生き物をプールサイドで分類し、子どもたちに解説します。授業の内容は、生涯学習文化課の社会教育指導員が「スクールミュージアムだより」を作成し、市内小学校へメールにて情報発信しています。そのなかにプールで採取した生き物の記録はありますので、見ていただくことはできます。

（御簾納副会長）

急ぎませんので、お願いします。

（宮本委員）

民間開発発掘調査事業について、九十九坊廃寺跡の調査とありますが、調査場所は県指定史跡「九十九防廃寺趾」の近くですか。千葉県との協議はしているのですか。

（當眞文化振興担当主幹）

調査場所は、県指定史跡「九十九防廃寺趾」の隣接地です。民間業者の開発計画がきた時点から千葉県文化財課と協議しております。「記録保存」することになり、今回の調査を実施しています。

(宮本委員)

発掘調査は、今年度で終了ですか。

(當眞文化振興担当主幹)

発掘調査は、開発区域を2区画に分けて実施することにしており、今年度は2分の1が終了しました。令和6年度は、残り2分の1の調査を行う予定です。

(宮本委員)

県指定史跡「九十九坊廃寺趾」には塔礎石と基壇跡が残り、古代の寺院跡として君津地域において重要な遺跡です。何かしらの形で保存できればとも思いますが、残念です。次年度の発掘調査時には、現地視察を希望します。

(當眞文化振興担当主幹)

今年度は発掘調査件数が多かったとお話しましたが、全体的に埋蔵文化財包蔵地内での開発計画が増えております。今回は12月に補正予算を組み、年明け1月から3月の期間も調査を実施しました。九十九坊廃寺跡の今年度調査も見ていただければよかったのですが、現地作業との折り合いがつかず申し訳ありませんでした。次年度はぜひご指導お願いします。

(木曾野会長)

私からもいいでしょうか。同じ清和地区ということで「鹿野山のはしご獅子舞」の休止は気になっていました。保存会の総意として今後の継承についての意向が決まり、そこに向けて動こうとしていることはいいこと。時間はかかるかもしれませんが、白鳥神社で勇壮なはしご獅子舞が復活することに期待したいです。事務局や関係機関には、ぜひ保存会と連携した支援をお願いします。

(木曾野会長)

他にございますか。

ないようですので、(2)その他について、事務局の説明を求めます。

(2) その他

(平塚副館長)

私から2点報告します。1点目は、資料館から天守閣に向かう登城道の復旧整備です。昨年6月2日～3日にかけての大雨で、登城道の路肩一部が大きく崩落し、設置していた擬木柵も巻き込まれて宙ぶらりんになるなど、たいへんな被害がありました。危険なため、ただちに登城道を通行止めとしました。その後9月補正で予算措置ができ、11月から復旧工事を始めましたが、このたび工事が完了し、3月1日に通行止めを解除することができました。5月の地震で被災した天守閣の内部へは相変わらず立入禁止ですが、本丸跡までは行くことができ、建物の外観はご覧いただけるようになりました。

続いて2点目、入館者100万人達成記念植樹についてです。100万人達成自体は8月のことでしたが、記念植樹は、植樹に適した時期と登城道復旧工事の完了をふまえ、3月26日に行う予定です。天守閣前に枯れた桜が1本あり、これを伐木し、新たに桜1本を植えるものです。当日は、市長・教育長・市議会議員などに来館いただき、植樹式を実施いたします。以上、報告いたします。

(木曾野会長)

事務局の説明が終わりました。何か質問、ご意見等がありますか。

(宮本委員)

細かいことですが、植樹する桜の品種は何ですか。

(平塚副館長)

ソメイヨシノです。業者と協議して決定しました。

(宮本委員)

ソメイヨシノは比較的新しい時期の品種です。城郭があった当時に桜があったかはわかりませんが、自然に近い品種もよいのではと思い、お伺いしました。桜の木はメンテナンスが大変ですね。

(平塚副館長)

そうですね。植えて終わりではなく、害虫対策の消毒など、手をかけていく必要があると思います。

(木曾野会長)

他にございますか。

(渡邊委員)

君津市史について伺います。平成13年度の通史刊行以来23年あまり経過しましたが、市史の在庫はまだありますか。

(眞文化振興担当主幹)

君津市史は史料集などもあわせて全10巻刊行しておりますが、販売在庫はまだまだあります。

(渡邊委員)

在庫の有効利用という観点での提案です。自分の周辺のことで申し訳ないが、古文書を勉強する会で、市史の資料編をよく利用しています。1人1冊持っていれば便利だし、家でもゆっくり勉強できるかなと思いますが、値段が高額なこともあってか、持っている人は少なく、部分的にコピーしたりして勉強しています。失礼な言い方ですが、もし在庫が余っているなら、勉強している人が安く買えるようなことを検討してもらいたいという提案です。

(眞文化振興担当主幹)

市史の販売は総務課が担当しており、刊行当初のような売れ行きではありません。価格は、5,000円から7,000円と決して安い値段ではないと思います。価格の変更等は、ご意見として担当課に伝えます。

(渡邊委員)

一般的にみれば高いかもしれませんが、価格以上の内容は備えています。倉庫のような場所で眠らせておくのはもったいないので、検討をお願いします。

(小高委員)

市史に限ったことでなく、自治体刊行の有償図書全体で在庫管理、保管場所は課題となっています。市史は、行政資料として総務課が管理するところが多いようですが、保管場所の環境が悪くてカビが生えてしまい、結局処分せざる得ないこともあると聞きます。また、市内居住者のうち希望する人へ配布するといったことをしている自治体もあるようです。何かルールを決めて対応されたらいいのではないのでしょうか。

(木曾野会長)

他にございますか。

質疑もないようですので、これで終わります。

長時間にわたり、ご協議いただきありがとうございました。

事務局へ進行をお返しします。

10 閉 会

(塚越課長)

以上をもちまして、第2回文化財審議会を閉会いたします。長時間にわたりお疲れ様でした。

以上、会議の顛末を記載し、事実と相違ないことを証します。

令和6年3月29日

君津市文化財審議会
会 長 木曾野 正勝

※ 久留里城址資料館の入館者100万人達成記念植樹について、当初予定の3月26日は悪天候のため中止し、3月27日に実施した。